

食料支援「めっちゃうれしーい」

民青が大分大学生に提供



民青の「虹プロジェクト」で食料を受け取る学生ら＝14日、大分市

日本民主青年同盟大分県委員会は14日、大分市の大分大学近くで学生への食料支援活動「虹プロジェクト」に取り組みました。コロナ禍で苦境に立たされた大学生に米や飲料水、カップ

麺、レトルト食品などを無償提供しました。案内チラシを見たという学生60人が次々と訪れ、スタッフに「こんな活動があるなんて、めっちゃうれしーい」助かります」など声をかけていました。

「スイートポテトをつくらう」とサツマイモを手にしたレオンさんとモモコさん（ともに1年生）は「バイトと奨学金で頑張っている」と決めていたのに授業はなくなりバイトも見つからず、前半は本当につらかつ

た」と振り返り、グループで来た体育会系の部員は、部活が集中する土曜日の学食が今も休業のままだと述べ、「食費があがって困る」と話しました。

3人連れの女子学生からは「オンラインなのに学費が（対面授業と）同じなのはおかしい」「オンラインだと集中できない」「モチベーションがあがらない」など不満の声も。スタッフが次回も予定しているという「ぜひぜひ」待っています」と応じていました。

支援スタッフの同盟員は「予想以上の反響で多数の学生に喜んでくれた。自炊用のお米や水などを選ぶ学生が多いのは意外だし、トイレレットペーパーなど生活雑貨も人気があった。次回はさらに工夫をこらして応援したい。LINEアンケートが楽しみだ」と話しました。